

さわ たき 尺や滝には、 い つた こんな言い伝えがあります。

★1 井戸尻沢

むかし ぬかづか ちょうじや ひろ ない ほう
昔、糠塚に長者がいました。広いやしき内には、豊
ふ みず で いど ふ みず なが いど
富な水の出る井戸があちこちにありました。その井戸
からあふれ出た水が、流れおちてできたのが井戸尻の
さわ 沢だそうです。

★2 十三淵の滝

むかし ふ きん こ なち かわあそ ば
昔から、この附近の子ども達の川遊びの場であります
した。およいだり、魚をとったりしたということです。
たき たか じゅうさんじゅく やく
滝の高さが十三尺（約4メートル）あるところから、
その名がついたということです。

★3 落合の滝

おちあい たき
たかどや山や三郡森の方から流れてきて一つになつ
た毛戸川の上流と、伝吉沢との合流したところにあり
ます。二つの流れが落ち合った場所にあるので、土地
ひとびと の人々は、落合の滝とよんでいます。

★4 金穴の沢

さわ ちか いりぐち
さわ かねあな さわ
沢の近くに、入口たて3メートル、よこ2メートル
おくゆき くらい ひと ほ あな
奥行30メートル位の、人が堀ったほら穴があります
むかし てつぶん ふく つち ほ あと
昔、ここから鉄分を含んだ土を堀った跡だといわれて
います。しかし、ふしぎなことに、堀りだされたはず
の大量の土は、その附近にはみあたらなかったそうで
す。

・清水沢

し みずさわ
さわ
清水がわきでて沢になっていることから、その名が
ついたそうです。水量もかなり多く、水がきれいです
・かじやの沢

むかし さわ ちか す
昔、この沢の近くに、かじやが住んでいたという言
いつた と ち ひとびと な
い伝えから、土地の人々はそう名づけてよんでいるそ
うです。

いじょう みつ さわ めいしょ
かんが
以上の三つの沢の名称から、こんなことが考えられ
るそうです。昔、金穴から堀った鉄分をふくんだ土を
し みずさわ つち なが てつぶん
清水沢で、土を流して鉄分だけを探り、かじやのとこ
ろで鉄に鋳って、都路の方へはこんだ人々がいたので
はないだろうかと。